

図書館員のおすすめ本

青少年と暮らしの交流室の司書がオススメする本です。

こちらに紹介している本はカウンター横のテーブルに展示しています。

『ピクトさんの本』

内海慶一 / 著 ビー・エヌ・エヌ新社 2007 727 / 187

～「ピクトさん」は名俳優！？～

「ピクトさん」って誰？と思ったアナタ！

必ず「ピクトさん」に会ったことがあるはず！

ビルの非常口や工事現場、電車のドアなどにある、人を危険から回避させるための看板に登場しているのが「ピクトさん」です。ドアに指をはさまれたり、階段でつまずいたり、断崖から海に落下してみたりと、体を張って人に危険を知らせてくれています。

「ピクトさん」は街中のいたるところで活躍中です。ぜひ探してみてください。

“日本ピクトさん学会”のHPでは世界中の「ピクトさん」に出会えます。



『ドロップ』

シルヴィア・ファン・オメン / 作 よこやまかずこ / 訳 竹書房
2003 E / ト

～友達っていいよね～

うさぎのヨリスと、ねこのオスカーは仲良し。天国に行っても会えるか心配になります。天国が、はてしなく広いところだったら...すごく混み合っていたら...記憶がなくなってしまうたら...。二人は悩んだすえに良い方法を思いつきます。

読んだあとに、やさしい気持ちになれる絵本です。

『灘校キムタツの頑張ってるから悩むねん。』

木村達哉 / 著 ベネッセコーポレーション

2007 159 / 7 / 122



～頑張ってるから悩むねん～

勉強・友達・将来の事...考えると頭が痛くなるし、面倒くさい。なにもかも嫌だと思っている。そんな中高生に、現役教師キムタツがアドバイスをおくります。

“自分の弱さに向き合えてますか？” “成績を上げる薬あります” “性格は変えられる” などの不安や悩みに関西弁でこたえます。

読んだからといって、不安や悩みが解消するわけではないですがヒントぐらいにはなるかもしれません。

『みんなが知りたい水族館の疑問 50』

イルカは楽しんでショーをしているのか？

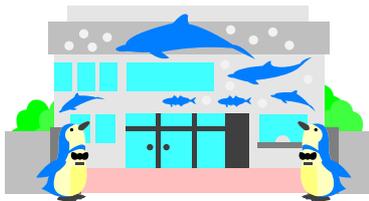
水槽は割れることはないのか？

中村元/著 ソフトバンククリエイティブ

2007 480 / 76 / 62

～「水族館はどんな施設か」～

「水中の世界」を見せてくれる水族館は子供から大人まで楽しめる場所です。そんな水族館の生き物に関する疑問、飼育係に関する疑問、水族館の施設に関する疑問など、Web アンケートから拾い出された 50 の疑問に科学的視点で答えています。この本を読んで「水族館」に詳しくなろう！



『[メタルカラー]のエンジニア伝

お父さんの技術が日本を作った!』

茂木宏子/著 小学館

1996 502//62-1

~日本の本当の主役たちを紹介~



この本でいう[メタルカラー]とは「ふだんは表舞台には出てこないが、確実に社会を支えているモノ作りの人たち」のことだそうです。

「技術」という武器でリニアモーターカーの開発に携わってきた人、アメリカで学んだ技術に工夫を加えアルミ缶のフタ(飲み口)を改良した人など、5人の技術者の熱意が伝わってきます。彼らは、学者さんでも発明家でもありません。「エンジニア(技術者)」

「はじめての文学」シリーズ

文藝春秋 2006~2007

913/68/282



~はじめの一步~

文学にふれる「はじめの一步」として企画されたシリーズです。重松清・宮部みゆき・村上春樹など、現代日本文学を代表する12人の作家それぞれの「とりあえず」という中・短編をあつめた本です。お気に入りの作家にであえるかも...

『今日は何の日 話のネタ 356 日』

PHP 研究所編 PHP 研究所

2006 204 / / 243

～話のネタに～

1年365日、世界各地で行事や祭りが行われています。また、様々な出来事や事件・事故が起こっています。この本は「今日1日」を切り取り、その日に起こったことやその日が“何の日”なのかをまとめています。自分の生まれた日は何があった日？今日はどうして 記念日なの？4月23日は何の日？この本を見ればわかります。

話しかけるきっかけに、自己紹介に、使えるネタが拾えます。

『ヨーロッパを旅してしまった猫のはなし』

20000GT

平松謙三 / 著 ブルース・インターアクションズ

2007 645 / 6 / 221

～もっと遠くへ！猫と一緒にどこまでも～

黒猫ノ口を連れて出かけたヨーロッパ旅行記。

異国の風景の中のかわいいノ口の写真もたくさん。

猫を連れて海外旅行に行くときの具体的な手続きや準備、旅行ができる猫の条件など実用的(?)な記事もあります。あなたの猫は海外旅行にいける猫ですか？



『理解という名の愛がほしい』

おとなの小論文教室

山田ズーニー / 著 河出書房新社

2006 816 / / 181 - 2

～人を動かすのは練度の高い正直さ～

コミュニケーションや文章表現についてのコラム集です。

筆者の体験や読者のメールを交えて、ノウハウを教えるというより考える材料をたくさんもらえる本です。インターネットの「ほぼ日刊イトイ新聞」で連載されている「おとなの小論文教室」をまとめたものです。目次を見て興味のあるところどこからでも読めます。